

「災害から命を救う人」

長野県 軽井沢町立軽井沢東部小学校 3年 ^{こばやし}小林 ^{ひろすけ}洋允

秋になるとニュースで土砂災害の様子を見ます。ぼくの住んでいる軽井沢でも山の方で土砂災害がおきています。

5年前の大雨の時おばあちゃんの家の外に生えていた大きな木がおばあちゃんの家屋根にたおれてきたのです。家の中にいたおばあちゃんたちは無事でしたが電気や水道が使えない状態でした。そういう人たちをお母さんのお兄さんが助けています。ぼくのお母さんのお兄さんはハイパーレスキューの副隊長です。おんたけ山がふん火した時も救助に行っていました。ぼくは災害で人が亡くなっているのを見て「災害なんかなくなればいいのに」と思いました。でも地球に住んでいるので自然現象はなくせないな、とあきらめました。

お母さんのお兄さんつまりぼくのおじさんのようにレスキューになって救助するだけでなく地球の外から人々の命を救おうとしている人たちがいます。それは観そくデータなどを読み取る人たちです。さいがいをひどくしないためにみんなによびかけています。GPM えい星もそのぎじゅつの一つです！この人工えい星は雨雲か雪雲かをそくていするレーダーと、雨や雪がどれくらいふるかをそくていするレーダーをつんでいます。2014年2月28日3時37分にたねが島宇宙センターから打ち上げられました。

自分やまわりの人たちと協力し合って命を守っていくことは出来ます。災害がおきる時注意ほうを沢山耳にします。その時、ぼくは注意ほうや広ほうをしっかりと注意して聞くようにしています。

色々な人々や力やぎじゅつや最新の人工えい星で守られているのだなと思いました。

ぼくは将来人を助けたり救えたりする人になりたいです。